

# 京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」【グローバル型】

## FAQ

### ● 第 12 期公募までとの違いについて

Q1: 第 12 期の公募との違いはなんですか。

A: 第 12 期までの公募からの主な変更点は以下のとおりです。

#### <募集人員>

- ・職種を指定しない 15 名程度の募集から、特定助教 15 名程度、特定准教授又は特定講師 5 名程度の募集に変更しました。

#### <待遇等>

- ・採用する職種に特定講師を追加しました。
- ・育児休業に伴う任期の延長期間について、原則として最長 1 年間から、受入部局・受入教員との協議のうえで、休業した期間に応じた任期の延長を認める取扱いに変更しました。
- ・介護休業に伴う任期の延長を、受入部局・受入教員との協議のうえで、休業した期間に応じた任期の延長を認める取扱いを導入しました。
- ・採用後に自身の研究を実施するための京都大学内の研究場所等（受入先）について、受入教員への事前内諾の推奨から、受入教員への事前内諾を原則必須として、遅くとも面接審査までに内諾を得ることを求める取扱いに変更しました。

#### <選考方法>

- ・京都大学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第 8 条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先した選考を実施する方針に変更しました。

#### <提案書様式>

- ・「1. 応募者基本情報」に「賞罰」欄を追加しました。
- ・「1. 応募者基本情報」に「出産、育児又は介護による研究中断期間の有無」欄を追加しました。
- ・「3. 研究業績について」に「(2) 出産、育児又は介護による研究中断期間について」欄を追加しました。

### ● 公募要領について

#### 【対象とする分野について】

Q2: どのような分野が対象になるのでしょうか。

A: 人文学、社会科学、自然科学の全分野を対象とします。

#### 【応募資格について】

Q3: 対象年齢の記載がありませんが、上限や下限はあるのでしょうか。

A: 研究分野によって助教・講師・准教授になる者の年齢は様々ですので、実年齢で一律に上限や下限は設けておりません。

Q4:現在博士課程3回生で、来年3月に博士号取得見込みなのですが、応募資格はあるのでしょうか。

A:はい。

Q5:昨年度の公募で不採用となったのですが、今年度の公募に応募できるでしょうか。

A:応募可能です。

## 【採用職種について】

Q6:白眉プロジェクトにおける助教・講師・准教授の職務の違いを教えてください。

A:本プロジェクトでは、研究に従事していただくことを主旨としていますので職務上の違いはありません。研究者としてのこれまでのキャリア及び将来のキャリアパスを考慮の上、自身で判断し応募してください。

Q7:助教・講師・准教授の職務区分はどのように決まるのでしょうか。いずれでも構わない場合は、そのように応募できるのでしょうか？

A:職務区分は、ご自身で決めて提案書に記入していただきます。審査に当たっては、応募者が選択した区分について、その職に対する能力があるかどうかを判断します。このため、例えば、准教授として不採用であった者が、助教として十分な能力があったとしても、助教で採用されることはありません。また、応募後に希望する職を変更することはできません。応募者自身で、研究者としてのこれまでのキャリア及び将来のキャリアパスを考慮の上で、必ず一つ選択してください。選択がない場合は、審査に付されません。

Q8:任期についてはどのように決まるのでしょうか？

A:採用期間は原則5年間であるため、今回の公募による採用者の任期は、原則として、2023年4月1日から2028年3月31日までです。但し、前職の事情等により、採用日を遅らせることは可能ですが、任期の終わりは2028年3月31日から変更できません。

例えば、2023年10月1日に着任した場合でも、任期は2028年3月31日までとなります。

## 【待遇について】

Q9:給与額はいくらになるのでしょうか。

A:給与額は、京都大学の給与規定に基づき、個人ごとに算出いたします。職種別の目安となる金額は、下記(参考例)を参照ください。なお、表の額は応募者の給与額を保証するものではありません。

### (参考例)

#### 1. 給与

##### (1) 基本給

職種別の俸給月額例

助教：45万円～60万円

講師：50万円～65万円

准教授：55万円～70万円

例えば、俸給月額50万円の場合、

年俸は 600 万円（50 万円×12 月）となります。

**(2) 手当**

諸手当（通勤手当、住居手当、扶養手当、期末・勤勉手当等）は支給されません。

**2. 退職金**

支給されません。

**3. 健康保険、年金**

文部科学省共済組合及び厚生年金に加入していただきます。

Q10:採用後に他機関でも職を持って良いでしょうか。

A:白眉研究者は常勤（フルタイム）の教員ですので、同時に他機関・他事業で雇用されることや事業を営むことはできません。兼業は、一定の条件の範囲内であれば、事前に許可を申請することで、認められることがあります。

Q11:期末・勤勉手当や通勤手当等は支給されるのでしょうか。

A:支給されません。

Q12:赴任旅費の支給はあるのでしょうか。

A:支給されません。

Q13:他の国立大学に勤務している者ですが、もし採用された場合には退職金は通算されるのでしょうか。

A:通算されません。

Q14:職員宿舎に住むことは可能なのでしょうか。

A:貸与申請することは可能です。なお、空き状況等もありますので、希望通りになるとは限りません。

Q15:育児休業や介護休業の取得は可能でしょうか。また、取得した場合の任期の取扱いについてはどうなるのでしょうか。

A:取得は可能です。育児休業や介護休業の取得に伴って任期の延長を希望する場合は、受入部局・受入教員とも協議の上、休業した期間に応じた任期の延長を認めることが可能です。

Q16:日本学生支援機構が定める免除職に該当するでしょうか。

A:5年間の任期付きではありますが、常勤フルタイムの研究職ですので、免除職制度の基準に該当します。

Q17:自身の研究のより一層のステップアップを図るために教育活動にもある程度携わりたいと考えていますが、可能でしょうか。

A:白眉プロジェクトは次代の学術を担える人材を育成するプロジェクトであるため、研究活動の-effort率が50%を下回らない範囲であれば可能です。自身で今後のキャリアアップのために必要性があると考えられるのであれば、受入先とご相談ください。

## 【白眉センターについて】

Q18: 白眉センターとはどのような組織ですか。

A: 創造性豊かで、広い視野と柔軟な発想を持った次世代をリードする若手研究者の育成に関する業務を行うことを目的とする全学的な組織です。センターには、センターにおける管理運営など意思決定を行う運営委員会、採用候補者の選考等を行う選考委員会「伯楽会議」、及び採用者への指導助言を行うプログラムマネージャー等が置かれています。

## 【受入先及び研究費について】

Q19: 受入先とは、どのようなものですか。

A: 白眉プロジェクト【グローバル型】の採用者は白眉センターに所属しますが、実際の研究は、原則として京都大学内の各部局において行います。この実際に研究を行う京都大学内の研究場所を受入先と言います。

Q20: 受入先は、京都大学以外の機関でも良いでしょうか。

A: 京都大学内のみとします。

Q21: 受入先を確保していないと、選考上、不利になるのでしょうか。

A: 受入先の内諾の有無が直接選考に影響することはありませんが、採用後の円滑な研究の実施のために、各応募者においては、応募時に、できるだけ受入教員の内諾を得ておくようにして下さい。遅くとも面接審査までに受入教員の内諾を得ておくことを求めます。

Q22: 提案書に複数の受入先を記入することも可能でしょうか。

A: 可能です。ただし、採用時に主となる受入先を決めていただく必要があります。

Q23: 採用後に受入先を変えることは可能でしょうか。

A: 可能です。

Q24: 時限付きの部局（競争的資金等により設置された研究拠点・部門など）であっても、受入先とすることは可能でしょうか。

A: 可能です。時限終了時には、新たな受入先を探していただきます。

Q25: 海外の機関での研究は可能でしょうか。

A: 本プロジェクトは次世代をリードする研究者を育成するものであるため、本人の研究の進捗状況等に応じて海外や他機関で研究することは可能ですが、本プロジェクト採用者については京都大学教員として採用されますので、あくまでも研究のベースは京都大学にあり、その研究の延長線上に海外や他機関での研究があるものと考えます。このことから、給与のみ京都大学から支給を受け、実態としては他機関の教職員のような形で研究

を行うことは好ましくはありません。そのため、京都大学教員としての自覚を持つこと及び原則として当初半年間は国内を研究のベースとしてください。なお、採用者は白眉センターが主催する行事等に参加する義務がありません。

Q26:採用された場合は、競争的資金の応募に対する制限はあるのでしょうか。

A:各競争的資金の公募の条件にもよりますが、積極的な競争的資金の獲得を奨励しております。

## 【研究成果について】

Q27:公募要領には「白眉センターによる中間評価等を行いません」とありますが、任期終了時の評価も行われないのでしょうか。

A:中間評価と同様に、任期終了時にも白眉センターによる評価は行われません。なお、毎年度の研究活動の報告及び採用期間終了時の研究成果の発表は行っていただきます。

## 【選考方法について】

Q28:京都大学出身者・在籍者が有利なのでしょうか。

A:選考には影響ありません。

Q29:指定された面接日時に他の予定が入っている場合は、別な日時に変更していただくことは可能でしょうか。

A:指定された面接日時の変更は認めていません。

Q30:海外から応募しようと思っておりますが、オンラインによるインタビュー形式での面接は可能でしょうか。

A:オンラインによるインタビュー形式での面接は原則認めていません。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による水際対策により面接審査のために海外からの入国ができない場合には、例外的にオンラインによる面接を実施する場合があります。

Q31:面接は、どの言語で行われるのでしょうか。

A:応募者の選択に基づき日本語又は英語で実施しますが、当プロジェクトが国際的なプログラムであることに鑑み日本語を選択した場合でも、一部英語での質問を行うこともあります。

Q32:第二次審査の旅費は出るのでしょうか。

A:申請・面接など応募に関する一切の費用は出ません。自身で用意してください。

## 【選考結果等について】

Q33:書類選考の結果については、どのように通知があるのでしょうか。

A:応募者全員にE-mailにて通知します。通知時期については、12月を予定していますが、選考スケジュールに

もよりますので、変更の可能性があります。

## 【応募方法について】

Q34: 応募者登録サイトで情報登録はしましたが、応募締切までに提案書のアップロードをしなかった場合は、審査されるのでしょうか。

A: 応募者登録と提案書のアップロードの両方が無ければ審査に付されません。なお、応募者登録サイトは下記リンクからアクセスしてください。

<https://recruit.hakubi.kyoto-u.ac.jp>

Q35: 参考資料として著書を郵送したいのですが、可能でしょうか。

A: 公募要領で求められている書類以外の提出は認めていません。

Q36: アップロードした提案書に誤りを見つけましたが、差し替えは可能でしょうか。

A: 応募締切までに再度アップロードすることにより、差替え可能です。その場合は、前回アップロードされた提案書は削除されます。

Q37: 登録した情報に誤りを見つけました。修正は可能でしょうか。

A: 修正は、応募締切日時まで可能です。

Q38: パソコンの動作環境により、登録サイト上の「関連する研究分野」の選択がうまく作動しません。

A: 不具合があった場合は、公募要領に記載の問い合わせ先の E-mail アドレスまで連絡してください。

## 【応募締切について】

Q39: 応募締切日時は日本時間でしょうか。

A: 日本時間です。

Q40: 応募締切を過ぎてしまいましたが、受け付けてもらえないでしょうか。

A: 応募締切以後は一切受け付けません。

## 【提案書送信先について】

Q41: 提案書の提出方法がアップロードのみとなっていますが、郵送での応募は可能なのでしょうか。

A: アップロードでのみ応募可能となります。郵送された場合には、審査対象外となります。

Q42: 京都大学に所属する者ですが、応募は部局の事務を通して行うのでしょうか。

A: 事務を通さず、直接応募してください。

## 【公募説明会について】

Q43:説明会への出席は応募要件でしょうか。

A:説明会に参加していなくても、応募は可能です。

## 【問い合わせ先について】

Q44:電話での問い合わせは、可能でしょうか。

A:電話での問い合わせにはお答えできません。また、公募締切直前には、多くの方からのメールによる問い合わせが予想されるため、時間的余裕を持って問い合わせてください。なお、応募書類の受領確認については、応募締切後1週間を目途にメールにてご連絡いたします。それまでは応募者側から受領確認について問い合わせることは控えてください。

## ● 提出書類等について

### 【提出書類全般について】

Q45:署名や捺印すべき箇所はありますか。

A:ありません。

Q46:所定の様式ではなく、既に持っている既存の様式での提出は認められるでしょうか。

A:認めていません。所定の様式を使用してください。

Q47:書類選考及び面接時において、提出書類はカラー、モノクロのどちらで準備されるのでしょうか。

A:カラーで印刷します。

Q48:英語と日本語のどちらで記入すれば良いでしょうか。

A:どちらでも構いません。

Q49:英語、日本語以外の言語での記入は認められているでしょうか。

A:認めていません。

### 【提案書、提案書作成・記入要領について】

Q50:来年3月に博士の学位を取得見込みですが、学位の欄にその旨を記入しても良いでしょうか。

A:博士学位取得見込みである旨を記入してください。

Q51:日本学術振興会特別研究員（PD）ですが、現在の所属先、職名はどのように記入すれば良いでしょうか。

A:現在の所属先については現在実際に研究に従事されている機関・部署を記入し、職名については、日本学

術振興会特別研究員（PD）と記入してください。

Q52: 関連研究分野について、自分の研究に近い研究分野が3つ以上ある場合どのように記入すれば良いでしょうか。

A: 3つ以上ある場合でも、記入は2つです。最も関連のある研究分野の2つを必ず記入してください。

Q53: 関連研究分野に記入した内容はどのような目的に使われるのでしょうか。

A: 応募書類を第一次審査の審査区分に振り分けるために使います。書類選考は、白眉センター専門委員会において実施されることとなりますが、記入された関連研究分野に応じて適切な審査区分において審査を行います。

## ●【グローバル型】及び【部局連携型】について

Q54: 【グローバル型】と【部局連携型】を導入した狙いを教えてください。

A: これまでの白眉プロジェクトにおいては、高い志を有する研究リーダーの育成を目的として、ひたすら研究に専念していただいておりますが、創造性豊かで、広い視野と柔軟な発想を持った次代をリードする研究者として活躍するとともに、次代の学術を担える人材の育成を目的として、2015年の公募より、これまでの白眉プロジェクトを踏襲した【グローバル型】に加え、文部科学省・卓越研究員事業を活用し、テニュアトラック制を導入した【部局連携型】による募集を開始しました。

【グローバル型】と【部局連携型】のいずれにおいても、自立的な研究環境を与え研究に従事していただくとともに、研究活動の-effort率が50%を下回らない範囲で教育や委員会等の諸活動を行うことができるものとします。特に【部局連携型】においては、テニュアトラック制の観点から、研究と併せてこれらの活動を行うことが期待されます。

Q55: 【グローバル型】と【部局連携型】の制度上の違いを教えてください。

A: 【グローバル型】により採用された研究者は白眉センターに所属していただきますが、【部局連携型】で採用された研究者は受入先部局に所属し、併せて白眉センター教員を兼任していただきます。なお、【グローバル型】・【部局連携型】ともに、採用された研究者には白眉研究者の称号を付与し、セミナー等の行事に参加していただきます。

なお、本Q & Aは【グローバル型】の公募要領等に係る内容であるため、【部局連携型】として募集するポストにおける採用条件等の詳細につきましては、国によるポスト一覧化公開においてお知らせします。

Q56: 【部局連携型】と文部科学省・卓越研究員事業の関係について教えてください。

A: 京都大学では、文部科学省・卓越研究員事業を活用し、白眉プロジェクト【部局連携型】による募集を行います。具体的には、文部科学省・卓越研究員事業における雇用調整期間に、白眉プロジェクト【部局連携型】として公表したポストの採用を希望する卓越研究員候補者を対象に、白眉センター専門委員会による審査を行います。なお、卓越研究員事業の詳細については、下記の文部科学省/日本学術振興会 HP をご確認ください。

<https://www.jsps.go.jp/j-le/index.html>



Q57:【グローバル型】と【部局連携型】は、同時に応募できるのでしょうか。

A:どちらかを選択してください。つまり、【グローバル型】への応募と併せて、文部科学省・卓越研究員事業への申請も検討される場合は、京都大学が提示するポストへ応募することは控えてください。なお、京都大学以外が提示するポストへの応募は妨げません。

なお、同一人物が【グローバル型】及び【部局連携型】の両方に応募したことが審査過程において発覚した場合は、その時点で【グローバル型】の審査対象から除外されます。